



社会福祉法人がもつ
地域ネットワークと人的資源で実現！

児童館を活用した無料学習支援



社会福祉法人 神戸新生福祉会

母子生活支援施設 グリーンコート新生

社会福祉士 清水美奈子

公認心理師 有村 佳子

目次

1. 法人概要
2. 実践の目的や背景
3. 実践内容
4. 実践による効果、成果
5. 課題となった事項



1. 法人概要

- 社会福祉法人 神戸新生福祉会 -

設立：1945年12月

運営施設：

母子生活支援施設『グリーンコート新生』 定員20世帯

児童厚生施設『神戸市立五位の池児童館』 定員なし

幼保連携型認定こども園『新生こども園』 定員69名

幼保連携型認定こども園『五位の池こども園』 定員78名

小規模保育事業『新生キッズホーム』 定員12名

所在地：兵庫県神戸市長田区

職員数：87名



母子生活支援施設「グリーンコート新生」とは

- 神戸市長田区の児童福祉施設（1954年～）
定員 20世帯 / 職員 12名
- 様々な課題を抱えた世帯（母と子）への
住居の提供と、自立へ向けた支援を行っている
- 専門職が**24時間365日体制**で支援
- 地域の子どもの健全育成に取り組んでいる
- 持続可能な組織づくりに取り組んでいる



<https://greencourt-shinsei.jp/>

2. 実践の目的や背景

目的

こどもの貧困の連鎖を防ぐため、一人ひとりの事情や学力に寄り添ったきめ細やかな学習支援を無料で行い、こどもの将来の可能性を広げる。

背景

長田区は、神戸市全9区の中でもっとも**経済格差**が大きく、**教育格差**が著しい。母子生活支援施設として関わってきた中学生の実情や関係機関の情報から、以下の支援ニーズがあると考え、事業を開始。

- ・親自身に学習経験が乏しく、進学や学習に関する情報が不十分であり、進学しているモデルが身近にいない
- ・家族が病気で、家事や弟妹の世話に時間を取られ、学習の機会が不十分である
- ・経済事情により、学習できるスペースがない
- ・学校の学習についていけないが、個別の塾に通うお金がない



3. 実践内容 しんせい COCO 学習室



「やってみたい」や「できた」が芽となり、
一人ひとりの未来に花が咲く学習支援

内容

(1) 日時 毎週水曜日
18:00～21:00

(2) 場所 五位の池児童館
(兵庫県神戸市長田区)

(3) 対象 経済的な事情などにより、学校外での学習機会を十分に得られていない中学生 (定員10名)

(4) 内容 ボランティア講師による**マンツーマン**の学習支援



【場所：神戸市長田区高取台中学校区】

この地域の子育て支援機能の
活性化を目指しています！

神戸新生福祉会
グリーンコート新生
(母子生活支援施設)

五位の池児童館
(しんせいCOCO学習室)

五位の池小学校

【中学校との連携】

校長先生と
一人ひとりの受験指導に向けて相談



【神戸新生福祉会が運営
している児童館で実施】



高取台中学校



しんせいCOCO学習室の特色

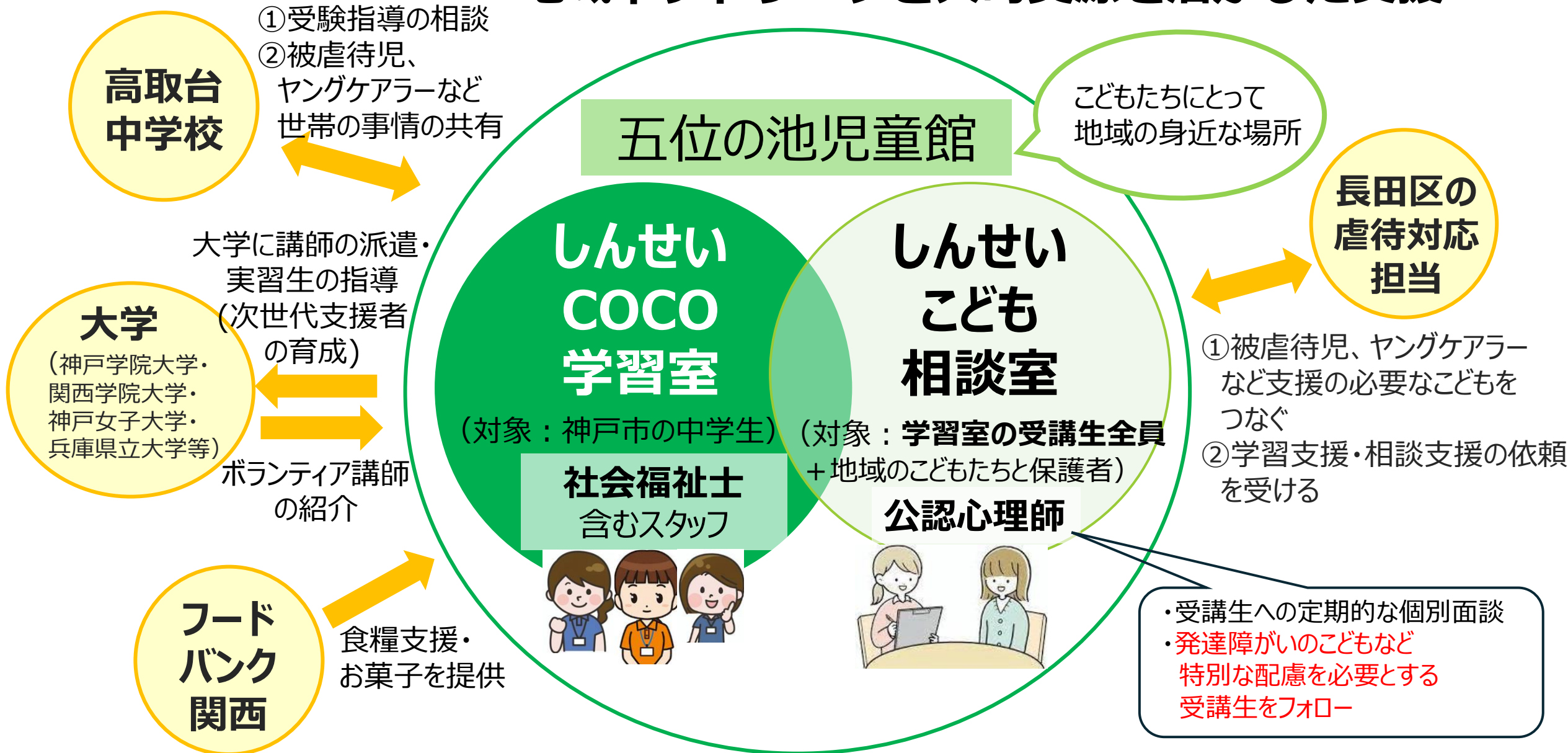
- (1) 児童福祉施設「グリーンコート新生」がもつ
地域ネットワークと人的資源を活かした支援

社会福祉士と公認心理師の活用

- (2) 事情のあるこどもへの支援ノウハウを活かしたきめ細かな支援
- (3) 将来像となる若者による「夢ゼミ」の実施や
季節のイベントなど体験の機会の提供

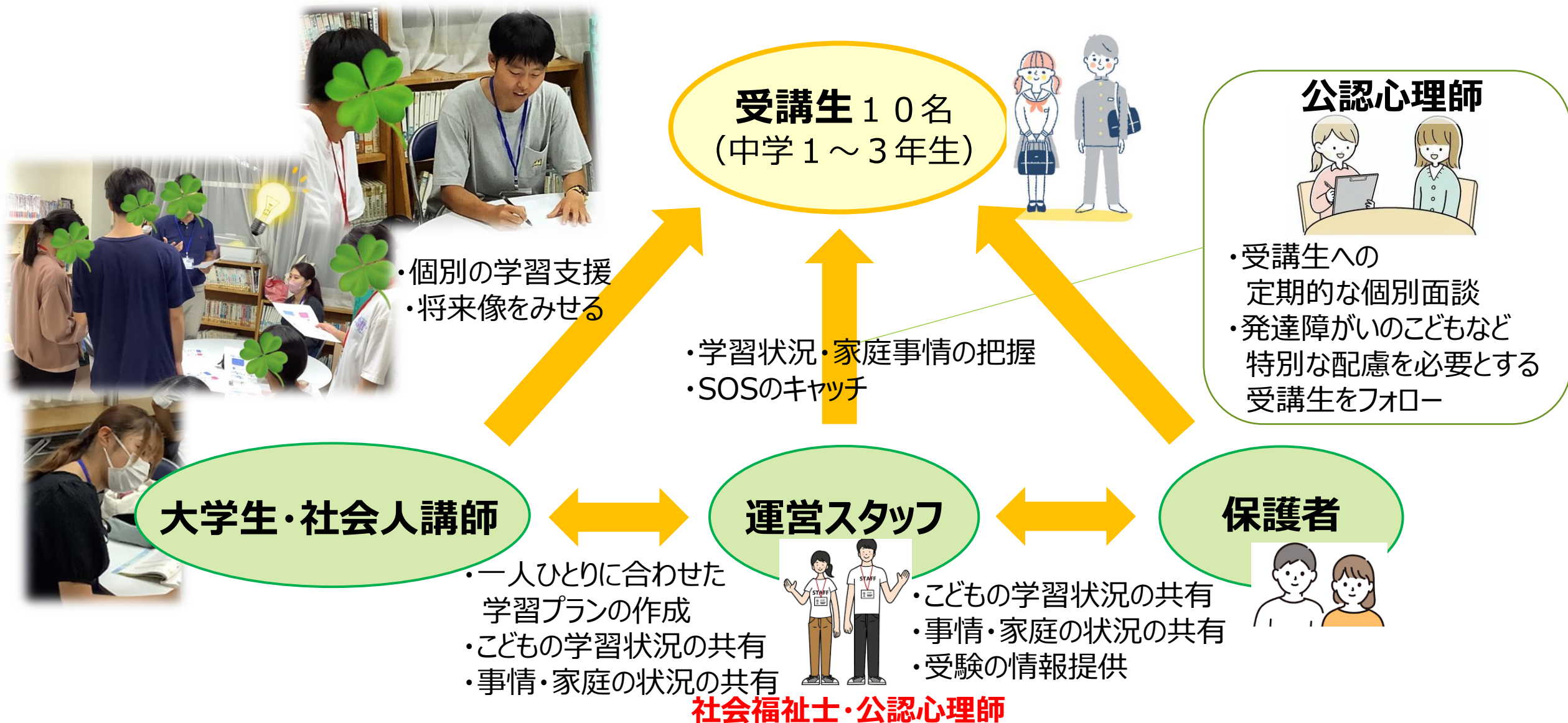


(1) 「グリーンコート新生」がもつ 地域ネットワークと人的資源を活かした支援



(2) 事情のあるこどもへの支援ノウハウを活かしたきめ細やかな支援

～多様な人財を活かしたチーム力でこどもたちの学力UPを応援する～



(3)

将来像となる 若者による「夢ゼミ」



こどもたちが夢や目標を描くための取り組み

季節イベントなどの 体験の機会の提供



4. 実践による効果、成果

【地域に対する効果】

- ①児童館活用による支援力の向上
- ②中学校との連携の強化
- ③関係機関とのネットワークの強化

児童福祉施設のもつリソースを活かし、
**「地域」「利用者」「職員」の
三方よしを実現！**
地域の**子育て支援機能の発展**に貢献！

三方よし

【利用者に対する効果】

- ①未来への可能性の広がり
- ②承認体験の積み重ねによる意欲の向上
- ③保護者の進学に対する知見と期待の向上
- ④施設入所者のアフターケア

【職員に対する効果】

- ①地域貢献感の向上
- ②主体性の向上
- ③チーム力のアップ
- ④発信力の向上

地域に対する効果

① 児童館活用による支援力の向上

- ・地域資源である児童館で学習支援を行うことにより、中学生の学習環境と居場所の提供、相談できる場所となった。
- ・地域の小学生から中学生までの切れ目のない支援を行えるようになった。

② 中学校との連携の強化

- ・受講生一人ひとりの学習状況や課題を中学校と共有しながら、受験に向けた支援を行うことで、個々の学力が向上した。
- ・被虐待児、ヤングケアラーなど事情のある受講生は、施設内の「しんせいこども相談室」でこどもの声を聴き、中学校と連携し、適切な対応を実現できた。

③ 関係機関とのネットワークの強化

- ・神戸市や長田区と地域ニーズや支援方法の情報共有ができた。
- ・社会福祉協議会を介して、他団体と支援や運営のノウハウを共有した。
- ・スクールソーシャルワーカーや長田区虐待対応担当に、被虐待児など受講生の事情を共有した。
- ・近隣の大学と連携し、大学生講師の募集を呼びかけた。



利用者（受講生）に対する効果

①未来への可能性の広がり

- ・受講生一人ひとりに合わせた対応や将来像となる若者とのかかわりにより、夢や目標をもち、実現に向けて挑戦するようになり、未来の可能性が広がった。
- ・将来像となる若者による「夢ゼミ」により、大学生活や社会人生活を知り、こどもの視野が広がった。

②承認体験の積み重ねによる意欲の向上

- ・公認心理師が悩みに寄り添い、承認されることで、安心感や意欲をもって学習に向かうことができた。
- ・応援してくれる大人との関わりや体験の機会により、自己肯定感が向上した。

③保護者の進学に対する知見と期待の向上

- ・こどもの高校進学に関心のなかった保護者に、情報提供したり、一緒に考える中で、こどもの進学を応援するようになり、進学につながった。

④施設入所者のアフターケア

- ・退所したあとも継続的に支援することで、家族も含め見守れるようになり、迅速に必要な支援につなげられるようになった。



職員に対する効果

①地域貢献感の向上

- ・施設内の世帯だけでなく、地域の世帯に目を向けるようになり、関係機関との連携を体験することにより、ものごとを多角的に捉えるように成長した。

②主体性の向上

- ・新規事業の開拓により、経験年数に関わらず議論を行うことで、若手職員がチャレンジ精神を発揮し、主体的に考え行動できるようになった。

③チーム力のアップ

- ・さまざまな背景や価値観の社会人や学生の講師と関わり、対話を重ね協働することにより、法人内のチーム力がアップし、効率的、効果的に進められた。

④発信力の向上

- ・勉強会や報告会のプレゼンテーションや助成金獲得のための企画提案の機会が増え、発信力が向上した。



受講生・講師・地域の人の声

（受講生より）

- ・先生が優しく授業も楽しく、勉強が楽しくなった
- ・成績が上がった
- ・テストでもっと良い点数を取りたくなった
- ・人と関わるのが苦手だったが、学習室に通う中で人と関わる楽しさを知った



（保護者より）

- ・成績が上がるのが嬉しくて、やる気が出て、親子共々感謝している
- ・毎週水曜日の学習室の日は、本当に楽しそうで、自主的に早い時間に家を出ている



（講師より）

- ・こどもたちが志望校に合格できるよう、できる限りのことをしたい
- ・家庭環境が複雑な子がいて心配
- ・受講生や講師と関わる中で、自身も成長することができて嬉しい



（中学校の校長先生より）

- ・個別の支援をしてくれてありがたい
- ・家族の状況までは学校では把握、ケアできないので助かる
- ・この地域には、支援の必要な子が多く、支援できる場を増やしてほしい



（長田区役所の虐待対応担当より）

- ・大変な状況のヤングケアラーに学習の機会を与えたい
- ・定員を増やしてもらえないか



（学習室に参加していない保護者より）

- ・Instagramの記事を見てとても好感を持った
- ・うちの子も参加させたい
- ・定員を増やしてほしい



5. 課題となった事項（1）

①ボランティア講師の確保に困った。

➡（解決方法）

- ・Instagramを毎週アップしたり、ホームページでPRした。
- ・ボランティア有料サイトで募集した。
- ・施設でつながりのある大学の授業に、PRに行った。
- ・児童館の学童保育に来ているアルバイトに、講師として参加してもらった。

②児童福祉施設を運営しながら新規事業を始めるにあたり、**人材が不足**した。

➡（解決方法）

- ・会場設定を児童館職員に担ってもらい、片づけはボランティア講師にってもらうなど、効率的な人材の活用をおこなった。
- ・法人が運営する児童館で実施することで教材などを運搬する時間を削減した。



5. 課題となった事項（2）

③**運営のノウハウ、学習支援のノウハウ**がなく、どこから始めてよいかわからなかった。

➡（解決方法）

- ・他の学習支援団体の見学に行く中で新たなつながりができ、運営や学習支援についての情報を得た。

④**会場使用料、ボランティア講師の謝礼、教材費の資金の確保**に困った。

➡（解決方法）

- ・会場の使用料や運搬費のかからない、法人が運営する児童館でおこなった。
- ・助成金に応募し、資金を獲得した。



しんせい COCO 学習室

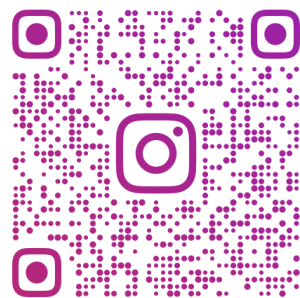
「やってみたい」や「できた」が芽となり、
一人ひとりの未来に花が咲く学習支援

 一人ひとりに向き合い、受講生に合った学習方法を見つけ、
目標に挑戦できるよう支援します。

 一人ひとりの強みを引き出し、自信を高め、
未来のなりたい自分を見つけられるよう支援します。

 講師やスタッフ、地域の大人とのつながりの中で
「応援してくれる大人がいる」と実感できるよう支援します。

Instagramアカウント



SHINSEICOCO